

平成 12 年 1 月～平成 28 年 7 月までに

当センターにおいて乳腺外科手術をお受けになった患者さんへ

(1) 研究の概要、目的について

当センターでは「高齢者、閉経前女性（50 歳以下）における乳腺粘液癌の細胞・組織学的検討」を実施しております。乳癌にはいくつかの病理の分類があり、中でもまれな粘液癌の占める割合は、高齢者では 10%以上、閉経前女性では 3～4%程度とされています。高齢者では Type B と呼ばれる粘液産生が少なく癌細胞の多いタイプが、閉経前女性には Type A と呼ばれる粘液産生が多く癌細胞の少ないタイプがそれぞれ多いとされています。

これまでの研究は、中高齢者のみを対象とした Type A、Type B の検討であるため、閉経前女性と比較したデータがありません。女性のホルモンの環境は年齢により大きく異なるため、同じ Type の粘液癌でも、高齢者と閉経前女性では、細胞学的、組織学的・免疫組織化学的特徴が異なる可能性があります。そのため閉経前女性も加え、系統的に粘液癌の特徴を明らかにし、手術前の組織型、さらには臨床像の推定に役立てることを目的とします。

具体的には、平成 12 年 1 月～平成 28 年 7 月までに、東京都健康長寿医療センター（旧東京都老人医療センターを含む）で、病理検査に提出された乳腺外科手術の検体のうち、粘液癌と診断された検体を対象としています。また本研究は患者さんお一人ずつの直接のご同意を頂かずに、このお知らせをもって患者さん皆さんからのご同意を頂いたものとみなさせていただきます。なお、この研究における患者さんの費用負担や謝礼などはございません。

研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加をご希望されない場合や、また研究に関するご質問がある場合には、下記の間合せ先へご連絡ください。

研究題名：「高齢者女性、閉経前女性（50 歳以下）における乳腺粘液癌の細胞・組織学的検討」

研究期間：倫理審査委員会承認後から令和 3（2021）年 3 月 31 日

研究実施責任者：東京都健康長寿医療センター病理診断科 新井富士

主任責任者：東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科分子病態検査学 沢辺元司

分担責任者：東邦大学医学部病理学講座 本間尚子

(2) 研究の方法について

通常、病理検査に提出された乳腺外科手術検体は診断などに用いられます。我々は、この診断が終わった検体について研究を行います。具体的にはパラフィンブロックにて保存されている検体を3mmという薄さで薄切し、乳癌関連マーカー、神経内分泌マーカー、ホルモン受容体関連因子、成長因子受容体、増殖関連因子、増殖能マーカーを免疫組織化学的に同定します。その結果をもとに、細胞学的、組織学的に高齢者女性、閉経前女性の乳癌を比較検討します。

(3) 資料の保管と、他の研究への利用について

実験を行う際には、検体を個人情報とは完全に分離した形で扱っておりますので、本研究によって患者さんの個人情報が漏れる心配はありません。また、国内外に研究の成果を論文・学会等で発表する場合も、個人の特定はできないようにしております。他の研究への利用はありません。なお、研究終了後のデータの扱いについては、論文の根拠となるデータは発表後10年間施錠可能な状態で保管します。

(4) 問い合わせ先

① 東京都健康長寿医療センターの問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター病理診断科 新井富生

〒175-0015 東京都板橋区栄町 35-2

電話 03-3964-1141 内線 2410 (平日 9:00~17:00)

苦情窓口：東京都健康長寿医療センター医療サービス推進課

03-3964-1141 内線 1121 (対応可能時間帯 平日 9:00~17:00)

② 東京医科歯科大学の問い合わせ先

東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科分子病態検査学 沢辺元司

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話 03-5803-5370 (平日 9:00~17:00)

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務係

03-5803-5096 (対応可能時間帯 平日 9:00~17:00)